

## ■第30回道新野生生物基金助成

### 2022年度募集要項

北海道新聞野生生物基金は、1992年の設立から、かけがえのない北海道の自然という財産を次の世代に引き継ぐために活動を続けています。2022年度の道新野生生物基金の助成は、一般助成が200万円、別枠の「杉本とき鳥類保護助成基金」が100万円の総額300万円を予定し、希望する団体、個人の申請を受け付けます。

なお、助成事業の完了後は、それぞれの団体、個人に活動の実施内容を報告していただき、その報告を当基金発行の自然情報誌「モーリー」に掲載し、助成事業の主財源である寄付をいただいた方々に報告するとともに、同種の事業を計画している団体、個人への参考にさせていただきます。

◇助成対象 北海道の自然と野生生物の保護活動を行っている団体、個人で、将来的に発展性のある活動を対象とします。(学術研究は除く)

◇助成内容 助成額は1件100万円以内。子どもの自然体験活動などが主体の事業などは1件20万円以内。事業の期間は原則1年間。

杉本とき鳥類保護助成基金も同様です。

◇助成要件 ・ 所定の申請用紙に必要事項（助成申請書、事業計画書、団体などに関する資料、助成金の使途及び予算書）を記入。添付書類があれば提出する。

・ 事業完了後、実施報告書の提出が必要（助成決定後に報告書の書き方を送付します）。

・ 報告内容は同基金が発行する支援情報誌「モーリー」などに掲載する。

◇申し込み 2022年3月25日（金）必着

・ 申込書類は書面（A4判片面印刷、添付資料含む）で郵送か、宅配便で〒060-8711 札幌市中央区大通西3丁目6、北海道新聞野生生物基金へ。

・ 所定の申込用紙は同基金のホームページ

<http://www.aurora-net.or.jp/nature/yasei/>からダウンロードするか、84円切手を同封し同基金に用紙の送付を請求してください。

・ 提出いただいた書類は返却いたしません。書類の不足や記入漏れがある場合は、受け付けを見合わせる場合があります。

◇選定・発表 ・ 助成審査会（審査委員長・金子正美酪農学園大学

教授) で決定します。

- ・ 4 月末までに北海道新聞紙上や同基金ホームページで発表します。

後日、決定を通知します。

◇問い合わせ (公財) 北海道新聞野生生物基金

**☎011-210-5773** (土・日・祝日を除く午前 9 時 30

分～午後 5 時 30 分)